



岡田山撤去連絡協議会通信

第6号 平成30年9月発行

第9回、第10回 岡田山撤去連絡協議会を開催しました

A group of approximately 15 people are seated around a large, rectangular conference table in a meeting room. They are engaged in a discussion, with some individuals looking towards the center of the table and others looking towards each other. The room has light-colored walls and a large window in the background. The table is set with papers, pens, and small green bottles. The overall atmosphere appears to be professional and collaborative.

【第10回会議当日の様子】

1 構成員、会長、副会長の再任等

第10回の協議会では、30年度最初の会議となることから、構成員、会長、副会長の再任等の手続を行いました。地元深草学区からは、構成員として走井深草学区自治連合会副会長、中井深草学区自治連合会副会長及び敷深草学区市政協力委員連絡協議会副会長が新たに加わられたほかは、前年度までの方々が引き続き構成員となられ、北川会長、久保副会長及び酒井副会長については、いずれも再任となりました。（メンバーについては裏面をご参照ください。）

2 岡田山撤去の進ちよく状況・環境調査結果・交通量調査結果の報告

第9回と第10回の協議会では、岡田山撤去の進捗状況、環境調査結果、交通量調査結果の報告が、(株)HIRAYAMA（撤去事業者）及び京都市環境政策局からありました。

29年度については、年間撤去計画量40,000㎡を達成し、30年6月末時点では全体の25%にあたる約205,000㎡の撤去が完了し、計画量を上回る撤去が行われていることを確認しました。その間、環境調査（大気、水質、土壌等）結果については問題ありませんでした。しかしながら、交通量調査において、協定で定める事業場に入出入りする1日の車両台数（420台）について、これまで一度も超過したことはありませんでしたが、平成30年6月7日の車両台数が超過したため、㈱HIRAYAMAから謝罪と原因及び今後の対応について報告がありました。

原因は車両台数を管理する担当者の欠勤と代替要員である担当者の不在により、車両台数が管理されていない状況が発生したことによるものです。今後の対応については車両台数を管理する担当者を1名増員し、3人体制で管理を行い、担当者不在の状況が発生しないように徹底するということであり、改善策及び再発防止策が講じられていることを連絡協議会で確認しました。

今後も地元構成員としましては、(株)H I R A Y A M A 及び京都市と連絡調整を行い、岡田山の廃棄物の撤去が安全、安心、そして確実に進んでいくよう、しっかりと見守っていきます。

なお、平成29年度の岡田山撤去の進捗状況及び環境調査結果は、インターネットでもご覧いただけます。（裏面下の検索方法を参照してください。）

[illegible]

㈱H I R A Y A M A施設見学会を開催しました

平成30年1月23日（火）午後1時15分から、岡田山の掘削物を選別・洗浄する産業廃棄物処理施設の見学会を開催しました。普段、立ち入ることができない現場を見学し、貴重な体験となりました。

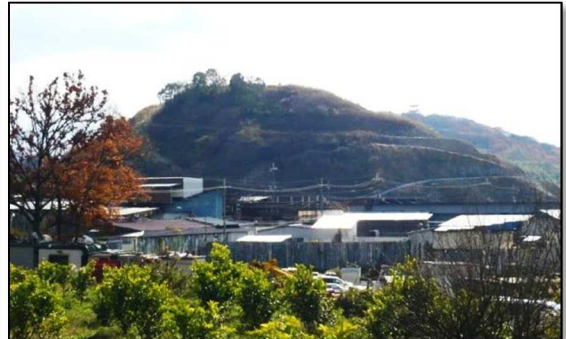


【施設見学会当日の様子】

【大岩街道周辺地域内の定点から撮影】



（通称）岡田山の様子（平成30年8月撮影）



（平成23年12月撮影）

岡田山の背後(写真右側)に写るのが「大岩山」です。以前に撮影した右の写真と比べ、岡田山の頂上部分がなくなるなど、岡田山の撤去が進んでいることが分かります。

また、京都市の違反指導により建築物の撤去が進んでいることも分かります。

岡田山の撤去と岡田山撤去連絡協議会について

通称「岡田山」は、稻荷山南山麓から名神高速道路の間の「大岩街道周辺地域」にある、過去に倒産した産業廃棄物処理業者が土やガレキ類等の建設系混合廃棄物を積み上げたものです。

京都市が策定した「大岩街道周辺地域の良い環境づくりに向けたまちづくりの方針」に基づき、現在の地権者の一人である㈱H I R A Y A M Aが、京都市の指導監督の下、自社の廃棄物中間処理業と並行して、本格的な撤去開始（平成26年度）から20年以内に岡田山を完全撤去します。

岡田山撤去連絡協議会は、岡田山撤去中の周辺地域の安全確保と生活環境を守るため、深草学区自治連合会・㈱H I R A Y A M A・京都市の三者で締結した協定に基づく協議会であり、深草学区各種団体の会長等も参画いただき、岡田山撤去に関する協議・連絡調整を行っています。

発行：岡田山撤去連絡協議会（地元構成員）

会 長 北川 晃（東部地域環境対策推進協議会 会長）
副会長 久保 穂積（自治連合会 会長）、酒井 彦三（交通安全推進委員会 会長）
構成員 元氏 健司（自治連合会 副会長）、走井 徳彦（自治連合会 副会長）、
中井 貞一（自治連合会 副会長）、藪 忠子（市政協力委員連絡協議会 副会長）、
北仲 重郎（保健協議会 会長）、森澤 幸次（自主防災会 会長）、
藤田 清臣（東部地域環境対策推進協議会 副会長）

◎ お問い合わせ先

・ 連絡協議会に関すること

深草支所 大岩街道周辺地域環境整備担当 電話：075-642-3175

・ 岡田山撤去に関すること

京都市環境政策局 廃棄物指導課 電話：075-366-1394

・ 周辺の環境調査に関すること

京都市環境政策局 環境指導課 電話：075-222-3955

◎ インターネットで岡田山撤去の取組のページを設けていますのでご覧ください。

- ・ 【岡田山撤去の取組】で [検索](#) → 「京都市伏見区役所：岡田山撤去の取組」を選択してください。
- ・ 【岡田山撤去 進捗状況】で [検索](#) → 「京都市：岡田山撤去の進捗状況及び環境調査結果について」を選択してください。